

第2回 中等日本語教育授業教案コンテスト

教 案

【注意事項】

※項目は全て埋めてください。

※実際のクラスを想定しながら、学生に対する指示や説明、やり取りの言葉など詳しく書いてください。

※授業時間は、1コマ40～45分です。

※教案は日本語で書いてください。

使用教科書：_____人教版七年级_____ 第 10 課 (全 8 コマの内、本教案は 6 コマ目) (例) 第5課の授業を7回に分けて、この授業を3回目にする場合 ⇒第5課 全7コマの内、本教案は3コマ目 1コマ 40 分 【要選択】(高校 ・ 中学) _____ 年 クラスの人数 _____ 人 【要選択】 第一外国語 _____ 第二外国語 _____ 課外活動 _____ その他 (_____) 日本語学習歴 _____ 8 ヶ月				
この授業の到達目標 駅などで初対面で会った日本人に、自分の日本語学習の体験や相手が中国での体験について、「いつ来ましたか」「どこに行きましたか」「どうですか」「A1です。でも/そして、A2です」といった文型を使って、簡単に聞いたり答えたりすることができる。				
この授業の学習項目 1. 初対面で会った人に話をかける言葉 2. 「いつ」、「どこ」、「どう」等疑問詞の使用 3. 「でも」、「そして」という2つの連詞の使用 4. 「ええ」、「そうですか」等応答の言葉の使用				
時間	段階 (授業の 流れ)	練習・活動の内容 (詳しく書いてください)	練習・活動の目的	注意点・ 使用するもの
3分	導入	フリートーク 皆さんは町で日本人に会ったことがありますか。 話をかけた、あるいはかけられたことがありますか。 どんな話をしましたか。 もし町で日本人に会ったら、どのように話をかけますか。 そして、話をどのように進めていきますか。 今日の授業では、バス停で日本人に会って、日本人と会話をする過程について勉強します。	身近な体験から、 楽な授業雰囲気を作る。 実際の場面を想定することで、学習意欲を引き出し、今日の授業内容にもつなげる。	生徒の日本語力はそれほど高くないので、フリートークは中国語で行う。
5分	前作業	中学生の王文君はバス停で、ある日本人の女性に会って、話をかけられました。そして、会話を始めました。 ①二人の会話は四つの部分に分けられています。 (四人グループで、一人にプリントの一部を配り) まず、自分の部分を見てください。そして、グループで話し合い、会話の順番を決めてください。	ピアラーディングの理念を生かして、個人学習と協同学習の両方を促す。	①日本語力を考えてグループ分けやプリント配布をする。

		い。 1)「あのう～どうも」→2)「日本の方ですか～難しいです」→3)「旅行ですか～行きませんでした」→4)「あ、来ました～ありがとう」 ②どうしてその順番で行きますか。順番を変えることができますか。 話しかけ → やり取り → お別れ (始まり) (展開) (終わり)	会話の構成、特に始まりと終わりの部分を注目させる。	②生徒の回答により、質問を変えたり、追加したりする。 ③使用するもの: グループ掲示用の白板、プリント
20 分	本作業	では、会話を詳しく見てみましょう。 ➤ 会話の理解と分析 (12 分) ①まず、教科書の p 124 を見てください。テープについて、発音を確認しながら、会話を一緒に読んでください。 ②次に、各部分の内容と日本語表現に注意してください。質問に答えてください。 1)「あのう～どうも」 - 最初に話をかけたのは誰。何と言いましたか。 →女の人:あのう/すみません。**に行きますか 板書:あのう/すみません (話かけ) - 王文君は何と答えましたか。 →ええ、行きます。 板書:ええ (肯定の応答) 2)「日本の方ですか～難しいです」 - 王文君は話をかけた時、何と言いましたか。 →日本の方ですか。 - 女の人は何について王文君に聞きましたか。何と聞きましたか。 →日本語の勉強:日本語の勉強はどうですか。 板書:～はどうですか (感想を聞く) - 王文君は何と答えましたか。 →おもしろいです。でも、難しいです。 板書:「A1 です。でも、A2 です」(逆接) (補足)「A1 です。そして、A2 です」(順接) 3)「旅行ですか～行きませんでした」 - 王文君は何について女の人に聞きましたか。何と聞きましたか →中国での体験:いつ中国に来ましたか/どこに行きましたか 板書:いつ来ます/来ましたか (時間疑問) どこに行きます/行きましたか (場所疑問) - 女の人は何と答えましたか。	最初に話掛けの言葉、やり取りの間に応答の言葉と、最後のお別れの言葉を勉強させる 「いつ」、「どこ」、「どう」等疑問詞の使用と、連詞「でも」、「そして」の使用を勉強させる	①生徒が答えやすいように質問の出し方とヒントの挙げ方を工夫する

	→去年の12月に来ました/万里の長城に行きました。 ・女の方は「去年の12月に来ました」と答えた後、王文君は何と言いましたか。 板書：そうですか（事実の応答） 4)「あ、来ました～ありがとう」 ・最後にお別れの時、何と言いましたか →あ、バスが来ました。バイバイ。 ③以上の分析により、会話の流れと内容を次の表にまとめましょう（PPT）。 <table><tr><td>流れ</td><td>内容表現</td></tr><tr><td>始まり</td><td>話掛け:あのう/すみません、日本の方ですか。</td></tr><tr><td rowspan="3">展開</td><td>日本語の勉強はどうですか。</td></tr><tr><td>→面白いです。でも、難しいです。</td></tr><tr><td>いつ中国に来ましたか/どこに来ましたか</td></tr><tr><td></td><td>→去年の12月に来ました/万里の</td></tr><tr><td>終わり</td><td>お別れ：あ、バスが来ました。バイバイ</td></tr></table> ④同じ場面で、中国語の会話の流れと比べてみてください。違うところがありますか。あれば、それは何ですか。教えてください。 ➤ 会話の定着と拡大（8分） ①男の子は「王文君」の役、女の子は「女の方」の役で、感情をこめて、もう一回会話を読んでください。 ②スライドを見てください。会話は先ほどの四部分に分けられています。教科書とプリントを見ないで、スライドに空いている所に適切な言葉を入れて、会話を完成してください。 ③上海で日本人に会うことを想定してください。本文の会話を参考し、皆さんができそうな質問を考えながらワークシートに書いてください。 ④皆さんの質問をまとめましょう <table><tr><td>できそうな質問</td></tr><tr><td>1. 旅行ですか/仕事ですか。</td></tr><tr><td>2. いつ上海に来ましたか。</td></tr><tr><td>3. どこに行きましたか/行きますか</td></tr><tr><td>4. **にも行きましたか。</td></tr><tr><td>5. 何を食べましたか/買いましたか</td></tr><tr><td>6. どうですか。</td></tr><tr><td>.....</td></tr></table>	流れ	内容表現	始まり	話掛け:あのう/すみません、日本の方ですか。	展開	日本語の勉強はどうですか。	→面白いです。でも、難しいです。	いつ中国に来ましたか/どこに来ましたか		→去年の12月に来ました/万里の	終わり	お別れ：あ、バスが来ました。バイバイ	できそうな質問	1. 旅行ですか/仕事ですか。	2. いつ上海に来ましたか。	3. どこに行きましたか/行きますか	4. **にも行きましたか。	5. 何を食べましたか/買いましたか	6. どうですか。		会話の流れと内容を表にまとめて、日本人とやり取りの会話フレームワークを作っている 中国語の会話の流れと比較する意識を持たせる。 ロール朗読と会話復唱（提示あり）の形で、学習した内容を定着させる。 会話の舞台を上海に変え、日本人に会ってできそうな質問を考えてもらうことで、会話の内容をより現実近く、豊かにさせる。 Q&A 練習を通して、疑問詞「いつ」「どこ」「どう」と連詞「そして」「でも」の使用を定着させる。次の段階の準備にもなる。	②言語表現が正しければ、教材の内容と多少異なってもいい ③「電話番号は何番ですか」など初対面の人に失礼な質問をさせないようにする ④使用するもの：ワークシート、PPT
流れ	内容表現																						
始まり	話掛け:あのう/すみません、日本の方ですか。																						
展開	日本語の勉強はどうですか。																						
	→面白いです。でも、難しいです。																						
	いつ中国に来ましたか/どこに来ましたか																						
	→去年の12月に来ました/万里の																						
終わり	お別れ：あ、バスが来ました。バイバイ																						
できそうな質問																							
1. 旅行ですか/仕事ですか。																							
2. いつ上海に来ましたか。																							
3. どこに行きましたか/行きますか																							
4. **にも行きましたか。																							
5. 何を食べましたか/買いましたか																							
6. どうですか。																							
.....																							

		⑤隣の人とペアで、Q&A 練習をしてください。																																		
10 分	後作業	①上海のある駅で日本人に会うことになります。 本文の会話を参考しながら、ペアで会話を作ってみてください。(5 分) <table><tr><td>卡片 A</td><td>卡片 B</td></tr><tr><td>角色: 上海中学生 A</td><td>角色: 日本人 B</td></tr><tr><td>场景: 在上海某车站遇到日本人 B</td><td>场景: 在上海某车站遇到中学生 A</td></tr><tr><td>话题: 询问日本人 B 来上海的目的与时间, 去了哪些地方, 并回答对方对自己日语学习的相关提问。</td><td>话题: 询问上海中学生 A 的日语学习, 并回答自己来上海的目的、时间, 以及去了哪些地方等相关提问。</td></tr></table> ★評価シート <table><tr><td></td><td>A+</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td></tr><tr><td>内容・结构</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>发音・词汇・语法</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>恰当性・流畅度</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> A+・A・B・C はそれぞれ「すばらしい」・「できた」・「もう少し」・「がんばって」に相当する ★関連語彙 <table><tr><td>地名と駅名</td><td>上海バンド/ディズニーランド/東方明珠/南京町/上海駅/上海図書館</td></tr><tr><td>形容詞</td><td>楽しい/忙しい</td></tr></table> ②実際ロールプレイをしてください。(時間により、3 組ぐらい) ③評価基準により、教師と学生同士からコメントをしてもらいます。(1 点か 2 点でいい)	卡片 A	卡片 B	角色: 上海中学生 A	角色: 日本人 B	场景: 在上海某车站遇到日本人 B	场景: 在上海某车站遇到中学生 A	话题: 询问日本人 B 来上海的目的与时间, 去了哪些地方, 并回答对方对自己日语学习的相关提问。	话题: 询问上海中学生 A 的日语学习, 并回答自己来上海的目的、时间, 以及去了哪些地方等相关提问。		A+	A	B	C	内容・结构					发音・词汇・语法					恰当性・流畅度					地名と駅名	上海バンド/ディズニーランド/東方明珠/南京町/上海駅/上海図書館	形容詞	楽しい/忙しい	学習目標に基づいた言語活動と評価シートを作り、学習目標が達成されたかどうかを確認する。 協同作業の能力を育成する。 即席のフィードバックを与え、学習への内省を促す。	①習った単語や文型をできるだけ活用することを強調する。 ②事前に一定程度の関連語彙を導入しておく。 ③自信のない場合は、原稿を見ながら会話してもいい。 ④使用するもの: ワークシート、PPT
卡片 A	卡片 B																																			
角色: 上海中学生 A	角色: 日本人 B																																			
场景: 在上海某车站遇到日本人 B	场景: 在上海某车站遇到中学生 A																																			
话题: 询问日本人 B 来上海的目的与时间, 去了哪些地方, 并回答对方对自己日语学习的相关提问。	话题: 询问上海中学生 A 的日语学习, 并回答自己来上海的目的、时间, 以及去了哪些地方等相关提问。																																			
	A+	A	B	C																																
内容・结构																																				
发音・词汇・语法																																				
恰当性・流畅度																																				
地名と駅名	上海バンド/ディズニーランド/東方明珠/南京町/上海駅/上海図書館																																			
形容詞	楽しい/忙しい																																			
2 分	まとめと宿題	今日の授業では、バス停で日本人と会って、日本人と会話をする過程について勉強しました。もし、皆さんは上海の町で、日本人に会ったら、どのように話をかけますか。スライドを見てながら、もう一度復習してください。 ➤ まとめ ・話をかけたい時、最初に何と言いますか。 →あのう/すみません。日本の方ですか。 ・話を進めていくには、どんな質問ができますか。 →いつ上海に来ましたか/どこに行きましたか/* **にも行きましたか/どうですか。 ・相手の質問や答えに対して、どう応答しますか。 →ええ (肯定) /そうですか (事実)	勉強した内容をもう一度確認させる。	①一緒に声を出して復習する。 ②使用するもの: PPT																																

		・最後お別れの時に、何と言いますか。 →バスが来ました。バイバイ ➤ 宿題 教師や学生同士のフィードバックに基づき、ロールプレイの原稿をもう一度修正してください。次の授業で原稿を見ないで発表できるように準備してください。	次の学習目標を明確にする。	
--	--	---	---------------	--

工夫点・アピールポイント（どの部分に力を入れて作成したか、どの部分に注目してほしいか など）

1. 学習目標に向け、インプット活動とアウトプット活動をデザインしました。そして、学習目標に基づき、評価シートも作りました。目標、活動と評価を一体化している。
2. 実際に日本人に会ったらどう話をかけるのかなど、導入の部分で出した質問に対し、まとめの部分では、もう一度その答えを整理しました。
3. 同じ場面で、中国語の会話の流れと比較してもらい、生徒に文化についての意識を持たせるように工夫しました。
4. ロールプレイの際に、会話の舞台を北京から上海に変え、実際のコミュニケーションに近い場面を作りました。
5. 個人的な学習だけでなく、グループ相談で会話の順番を決めることや、ペアでQ&A 練習、ロールプレイをすることなど、協同的な学習も積極的に取り入れている。
6. 本文の内容に基づいたQ&A、拡大練習でのQ&A、ロールプレイなど、徐々にレベルアップさせることを意識しながら、難易度の違う活動を用意しました。
7. 「自信がなければ原稿を見てもいい」「まだ次回の授業で発表しますよ」など、勉強できる生徒とできない生徒のみんなが参加できるように気を配りました。

研修会でどんなことを学び、どのように授業に活かしたか。

（例：〇〇の講座で●●について学び、授業では△△の部分に取り入れた など）

参加年： 2019 年 / 研修会名：第三回全国中等学校二外日本語教師研修会

1. 学習目標、学習活動と評価の一体化
2. 実際のコミュニケーションに近い場面を作ること
3. 必要な足場を架けてあげること
4. 個人的学習と協同的学習を組み合わせること

※2 ページ以上になってもいいですが、項目は変更しないでください。